

アジアン・ウェーブ

この「アジアン・ウェーブ」では、アジア大洋州市場をよりよく理解するための基本情報として、アジア大洋州市場に関する知識、投資テーマ、アジア市場対象のヘッジファンド動向などを取り上げて参ります。

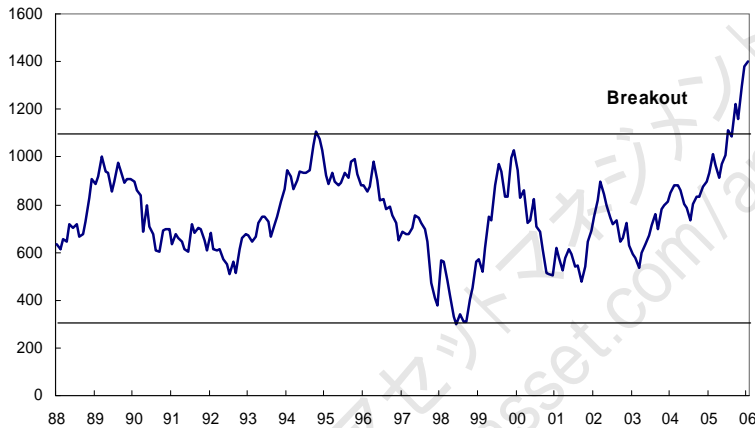
Vol.1: 韓国市場

(2006年2月28日作成)

何かと話題のBRICsですが、アジアで見過ごせない成長市場・韓国を見渡してみました。

日本市場を反面教師としている韓国市場の動きが、アジア危機等をのりこえて活性化しています。格付けの向上(Aなど)や成長率の上方修正(年率 5.2%へ)と着実に地盤固め。株式市場は好調を見せ、投資家層の拡大(ネット売買による個人投資家・事業会社の株式保有)や国内規制の緩和(金融機関の外資持分緩和・年金の株式投資解禁)が弾みをつけています(図表1ご参照)。外国人投資家占有の偏りも見受けられ(図表2ご参照)、ボラティリティの高さも特徴で、ボラティリティの中にリターンを追求する投資家には魅力的な市場と言えるかもしれません(図表3ご参照)。

韓国取引所は、韓国証券取引所(KSE)、韓国店頭株式市場(KOSDAQ)、韓国先物取引所の3取引所の総称(2005年に統合)で、現物株式市場は一部、二部、店頭株式に大別できます(この他に三部もあります)。韓国総合株価指数(KOSPI)は証券取引所(KSE)全銘柄採用の時価総額加重平均指数、約700銘柄で構成、19セクターに区分。但し、サムソン電子、ポスコ、国民銀行など大手200銘柄で韓国証券取引所の時価総額の9割弱をカバーしています。これが韓国200種株価指数であり、この指数を原資産とする先物・オプションが上場されています。



(図表1: 韓国総合指数レンジを突破)  
(Datasource) Bloomberg、ZEST 作成

韓国証券取引所(KSE)の外国人比率が突出しています。一部・二部には、例えばサムソン電子グループ全体の50%以上が外国人株主といった銘柄もあり、個別には大きな偏りが見られるのも特徴です。韓国の特徴ある産業のひとつが医薬品業界。日本には漢方といえばツムラ1社ですが、韓方(韓国の漢方)は中小型銘柄に数社は見つけられます。外国投資家にどれぐらいなじみがあり浸透しているセクターでしょうか。

| 韓国証券取引所 | 金額ベース% |       |      |      |      |       |
|---------|--------|-------|------|------|------|-------|
|         | 政府     | 機関投資家 | 事業会社 | 個人   | 外国人  | 合計    |
| 2004    | 4.4    | 17.6  | 18.0 | 18.0 | 42.0 | 100.0 |
| 2003    | 4.5    | 16.7  | 19.0 | 19.7 | 40.1 | 100.0 |
| 2002    | 5.7    | 15.9  | 20.2 | 22.3 | 36.0 | 100.0 |
| 2001    | 8.1    | 15.8  | 17.2 | 22.3 | 36.6 | 100.0 |
| 2000    | 14.4   | 15.8  | 19.6 | 20.0 | 30.2 | 100.0 |

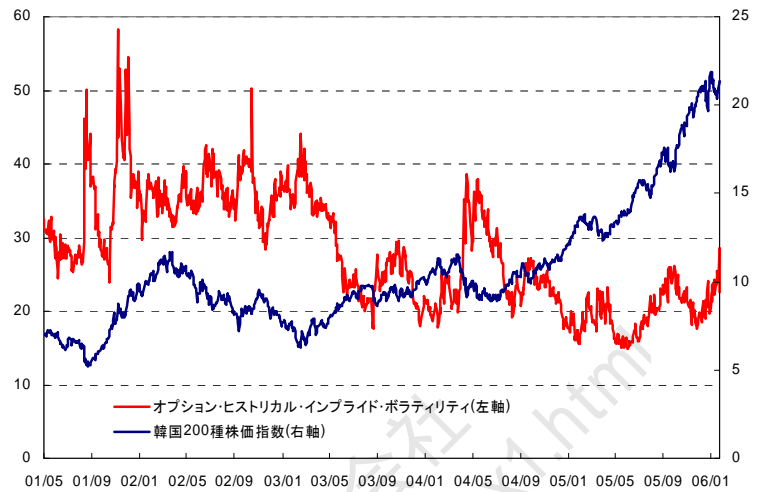
(図表2: 時価総額の投資主体別構成比)  
(Datasource) 韓国取引所

| コスタック市場 | 金額ベース% |       |      |      |      |       |
|---------|--------|-------|------|------|------|-------|
|         | 政府     | 機関投資家 | 事業会社 | 個人   | 外国人  | 合計    |
| 2004    | 0.6    | 8.7   | 17.4 | 57.9 | 15.4 | 100.0 |
| 2003    | 5.0    | 6.2   | 17.0 | 57.4 | 14.4 | 100.0 |
| 2002    | 12.8   | 11.4  | 17.5 | 47.4 | 10.5 | 99.6  |
| 2001    | 12.9   | 13.4  | 16.9 | 46.5 | 10.3 | 100.0 |
| 2000    | 6.0    | 20.2  | 22.0 | 44.9 | 6.9  | 100.0 |

本資料は広告ではなく公衆の使用あるいは公衆への配布の為のものではありません。本資料は当該ファンドの運用に関する情報提供を目的としたものであり、当該ファンドへの投資勧誘を目的として作成されたものではなく、従って正式な目論見書でも説明書でもありません。又、ここに示される過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。当該ファンドは投資リスクを有しており投資価値減少を含むリスクを投資家が負います。投資判断・決定はご自身でなされるようお願い致します。本資料の無断複製・転送・引用等を行わないようお願い致します。資料使用者には十分な取扱注意が求められます。

ボラティリティ：韓国市場には日本以上に非常に大きな騰落があります。ボラティリティ(リスク)が高いと、それだけ収益機会があるとも考えることも可能かもしれません。リスクがある分だけ収益性も高いと信じるグローバル投資家ならポートフォリオの一部に取り込みたい市場と言えるかもしれません。

(図表 3：韓国 200 種株価指数のボラティリティ)  
(Datasource) Bloomberg、ZEST 作成



本資料は広告ではなく公衆の使用あるいは公衆への配布の為のものではありません。本資料は当該ファンドの運用に関する情報提供を目的としたものであり、当該ファンドへの投資勧誘を目的として作成されたものではなく、従って正式な目論見書でも説明書でもありません。又、ここに示される過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。当該ファンドは投資リスクを有しており投資価値減少を含むリスクを投資家が負います。投資判断・決定はご自身でなされるようお願い致します。本資料の無断複製・転送・引用等を行わないようお願い致します。資料使用者には十分な取扱注意が求められます。